



MULTI CHANNEL INFLUENCER

MCI platform provides solutions for new creators that may be struggling in its new entries that can produce quality content

2020.07.28 12:00 KST

Version 1.2

CONTENTS

1. はじめに
2. 業界の現況-問題提起
3. ターゲットユーザ群
4. 事業内容及びプラットフォーム
5. トークン・エコノミー
6. トークン関連情報
7. パートナー及びチームメンバー
8. ロードマップ
9. リファレンス
10. 免責条項



MULTI CHANNEL
INFLUENCER

1.はじめに

従来の視聴者に一方的に送出されていた放送システムから脱し、コンテンツの自由度と多様性が強化されたプラットフォームであるユーチューブを筆頭に、多様なストリーミングプラットフォームが急成長する時代が到来し、これに合わせて専門的なコンテンツを生産する有名クリエイターの増加とともに、新規クリエイターの参入障壁も高まっていった。有名クリエイターを専門的に管理するMCN(Multi Channel Network)と呼ばれる形態のクリエイターマネジメントビジネスも登場し、本格的に1人放送やストリーミングプラットフォームの全盛期が続いている。

しかし、専門的な管理システムの登場は、この市場への参入を希望する新規クリエイターにとっては、決して喜ばしいニュースではない。このような専門管理システムの登場と市場の過飽和現象は人気が高く、上位ランカーが独占する従来の構造という面では、従来とそんなに変わらない。このような専門化、高度化による収益及び機会分配の上位集中現象は、単にコンテンツクリエイター、ストリーミングのみならず、いかなる分野においても新たな市場が形成されると、規模が大きくなり、自然に進行する現象であると考えられる。

MCIコインプラットフォームは、新規参入に壁を感じている良質のコンテンツの新規クリエイターへソリューションを提供するという考えだ。専門的なコンテンツを制作するための初期費用及び人材に対する投資及び支援、そしてこれを視聴者、ファンのようなコンテンツ消費者と連携して進めるクラウドコンテンツ制作支援プラットフォームを目指し、このような投資及び支援を受けて成長したコンテンツクリエイターが今後創出する収益を投資者に収益として返す仕組みを採択する。ある程度ファンがいるクリエイターの場合、従来の初期投資家の他にも新規投資を誘致したり、彼らの活動方向に介入しようとするファンにも課金形態のサービスで活動方向に対する意見表明ができる構成を実現したい。

このようなMCIコインプラットフォームの運営方式を通じて、将来を囑望される新規クリエイターは、大衆による投資や支援を受け、以前より著しく高まった現在のストリーミング市場への参入障壁に対する問題を解消することができ、氾濫しているコンテンツが画一化され、独寡占現象が深まる市場に多少嫌気がさしている消費者たちも、斬新で新しい良質なコンテンツを生産できる新規コンテンツへの関心の増大を導き出すことができる。これはつまり、大衆によって才能ある新しいクリエイターを発掘・支援し、コンテンツクリエイターの"富益富貧益貧"および"独寡占現象"の解消に貢献できる生態系を構築したいと思う。



Creator × Fan

2.業界の現況-問題提起

韓国の1人メディア市場は2018年約3兆8,700ウォン規模で2023年まで約8兆ウォン規模に成長する見通しだ。このような市場の中でMCN事業者は、現在約100社を超える。このうち76%程度のMCN社が独自企画及び制作コンテンツが流通しており、クリエイターたちのグローバル市場への進出と現地化を加速する役割をしている

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
市場規模(兆)	3.87	4.47	5.17	5.98	6.91	7.9

<韓国1人メディア市場規模の成長見通し>

1人メディア市場が成長して規模が大きくなるにつれ、以前には大きな制約がなかった状況から変わり、著作権侵害及び様々な考慮事項が出てきており、これを専門的に管理する必要性が浮上し、良質のコンテンツを維持するための人員や装備が必要だったり、以前とは異なる追加的な費用支出が発生したりする。このようなニーズと相まって、クリエイターたちの活動に対する付随的な管理及び支援を行う専門事業領域であるMCNが登場し、クリエイターたちとウィンウィンできる事業モデルを持続的に発展させていく。

このような環境が定着することで、メガクリエイター級でない以上、MCN業者と手を組んだほうがずっと効率的な方法となり、新規参入あるいは小規模で運営するチャンネルを維持しながら効率的な成長を願うクリエイターにとってMCNは不可欠な存在となった。

基本的なMCNの事業構造は以下の通りである。

- 1.広告収益モデル:広告主->プラットフォーム(ユーチューブなど)->MCN->クリエイター
- 2.クリエイターが進行するブランド広告やイベントの収益
- 3.クリエイターのIPを活用した事業収益

日本の大型MCN会社であるUUUMの場合2013年6月設立以来、2017年8月、日本MCN企業の中で初めて、東京証券取引所に上場し、MCN市場での大きな成功を実際に見せてくれた事例がある。これは日本上位10位圏内クリエイターの9人を自社クリエイターに編入することで、成し遂げた結果と言える。

MCNの登場以前は、外部の助けなしに自生的に活動していたクリエイターが過飽和状態のストリーミングプラットフォームでの競争構図の中で安定的なマネジメントが必要となり、自然に生成されたMCN市場は、今や従来よりはるかに高度化し専門的な形態の産業へと進化し、その内部でも熾烈な競争構図が形成されている。クリエイターの人気によって差等的な契約関係が築かれ、このような契約はMCN業者とクリエイター間のウィンウィンにつながることもあるが、一方ではクリエイターが独立して活動する場合よりも悪い収益につながるケースも発生することになる。

一方、このように1人メディアおよびMCN産業が高度に発展する間、新規に進入を希望したり、および小規模ファンを保有している良質のコンテンツを製作が可能な才能のあるクリエイターたちが進入できる障壁は高まるばかりで、これらを支援できるプラットフォームは事実上、不在状態と言える状況だった。ほとんどのストリーミングプラットフォームは、高い購読者数と再生回数を保有するチャンネルの映像をメインページに露出させており、連携映像もまた主に上位チャンネルの映像が露出する傾向がある。

結局、これはコンテンツ・クリエイターたちの"富益富貧益貧"現象をもたらし、新規クリエイターたちの居場所はますますなくなる悪循環を引き起こし、画一化され刺激的なコンテンツの氾濫というもう一つのイシューをもたらした。

究極的には、ますます斬新で新しいコンテンツを渴望する視聴者は、このようなコンテンツを探すのがさらに困難になり、ストリーミングやMCN産業は、大型化する当該産業のトレンドの中で、以前のテレビ放送のようなコンテンツの一方的な送出構造に回帰するような姿を見せるに至っている。

従来の画一化された放送コンテンツから脱皮しようとする"自ら放送してください"
という自律的放送生態系をはじめとしたユーチューブの登場

市場の拡大、氾濫するコンテンツ、各種著作権問題発生

とてつもない広告収益を出す大型クリエイターの登場

MCN企業の登場でますます高度化および専門化

次第に画一化するコンテンツおよび特定チャンネルの独占寡占現象

以前の一方向的放送時代に回帰するような姿のストリーミングプラットフォーム化

このような現象の脱皮のために自律的な生態系からユーザー参加式のコンテンツ
クリエイター育成及び支援プラットフォームの必要性が出てくる

3. ターゲットユーザー群

一般的に特定の産業において誕生から発展過程を経て大型化し、供給者と需要者の一方性を持つ構造は、多くの産業の発展過程において見られがちな現象である。しかし、究極的には需要者の意見を集めて積極的に反映する企業が、同種産業群でもさらに優れた発展を遂げる事例も無視できない。

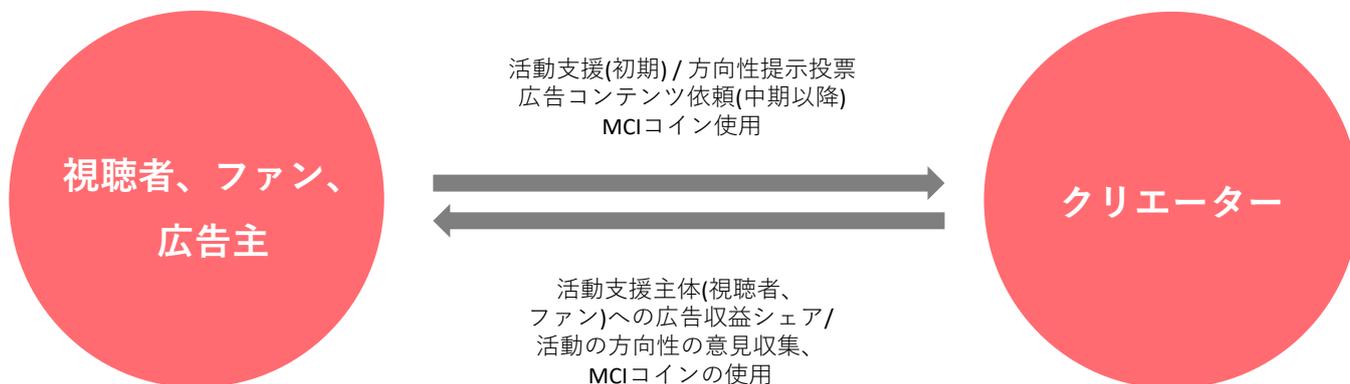
MCIコインプラットフォームは、このような点に着目し、才能と可能性を兼ね備えたコンテンツクリエイターの成長をサポートし、それを需要者である視聴者およびファンと共に作り上げていく仕組みのビジネスモデルである。

MCIコインプラットフォームで才能のあるクリエイターたちは本人が直接制作したコンテンツ企画を提示する。これを視聴者および新しいコンテンツを望むユーザーが評価することになり、投票を通じて育成支援を受けられるクリエイターを毎月限定的に選抜することになる。彼らはMCIコインプラットフォームが提供するデビューコンテンツ制作支援を受けるようになり、これを通じて作られたコンテンツ競演を通じて、もう一度長期的な支援プログラムに合流するクリエイターたちを選ぶことになる。2段階を経て、支援対象に選ばれたクリエイターたちはプラットフォーム内で持続的にコンテンツをアップロードし、ファンを構築し、視聴者及びファンたちは、本人が気に入ったクリエイターらにMCIコインを活用して活動支援をできるようになる。活動支援に参加するユーザーは今後変更不可能なスマートコントラクトによって、将来クリエイターが創出する収益について一定の保障を受けるようになり、このような支援を受けるクリエイターはより良いコンテンツを生産し、より多くの支援を受けるための活動を行う好循環構造を持つことになる。

その後、支援を受けたクリエイターがある程度コンテンツを通じた収益モデルが確立され、MCIコインプラットフォームで別途の支援を受けなくてもいい段階になると、ファンによる活動の方向性についての投票、広告主による広告コンテンツ制作依頼等についての意見収斂を進めることができ、初期支援を行ったユーザーだけでなく、今後流入するユーザーとも持続的なコミュニケーションの場を維持できる仕組みとなる。

このようにMCNプラットフォームは、既存の過飽和市場の中で参入に困難を強いられ、花が咲かなかった才能の優れたクリエイター志望者と本人の好きなクリエイターに初期活動支援及び方向性に対する意見介入を望む真のファンの需要をすべて満たすモデルになる。

4.事業内容及びプラットフォーム



前述したように画一化が進むコンテンツの氾濫は、視聴者が陳腐さを感じる要因となり、斬新なコンテンツを求める原因となった。しかし、大型化および高度化したストリーミングプラットフォームの特性上、すでに多くの購読者や視聴者を抱えるコンテンツを提供するクリエイターのほかには、検索やアクセスが初期に比べて難しくなった。このような高度化した市場において、斬新なコンテンツを求める需要と、このようなコンテンツを生産する準備ができていないクリエイター間の直接的な連結チェーンとなりうる新たな概念の参加型MCNプラットフォームを通じて、現市場に新たな流れと生態系を提案したい。

“自ら放送してください”というスローガンとして登場したユーチューブは2005年設立以来、13年間メガプラットフォームに成長してきており、これをはじめとしたMCN業者たちの大型化によって既存の芸能会社と大きな違いがなくなってしまった形で固まる一方、初期のユーチューブが掲げたスローガンとは多少距離が遠くなった1人メディアおよびストリーミング市場に変化している。既存の放送と違いを掲げた初期のストリーミングプラットフォームの基本的なコンセプトに合致すると同時に視聴者が望む方向のコンテンツが量産され得る仕組みのサービスは、現時点の1人メディアコンテンツ市場で最も必要なサービスの一つになる可能性が高い。

供給者と需要者の継続的なコミュニケーションと一体感は、需要者の好みに合わせたカスタマイズされたコンテンツの製作に不可欠な事項であり、良質なコンテンツの完成を加速させる道である。カスタマイズされた良質なコンテンツの確保は、既存のコンテンツに飽きた需要層を攻略し、新たな市場を形成することができ、需要者が直接コンテンツ製作に一層積極的に参加できる仕組みは、これらをさらに加速させる好循環の仕組みを確立できるようにする。

5. トークン・エコノミー

MCIコインはプラットフォームで視聴者、ファン、広告主、そしてクリエイター間の生態系参加のための基本通貨体系である。



MCIコインプラットフォームのように自律性が強化された生態系において重要な自主的な合意と契約の履行は、ブロックチェーン技術がその本質的な役割を発揮するのに最も適した環境である。これをブロックチェーン基盤のトークンであるMCIコインとスマートコントラクトを導入することにより、プラットフォームでのユーザー間の契約不履行のリスクを取り除き、ユーザー間の透明な相互取引内訳を確認することができるようになる。

6. トークン関連情報

トークン名称 / 種類	MCI コイン ((Multi Channel Influencer) / ERC20
発行量	3,300,000,000 MCI
流通量	396,000,000 MCI (12%)
トークンセール価格	\$0.0125

項目	分配率	備考
Founder	10%	1年間ロックアップ
Advisor	5%	1年間ロックアップ
Private sale	12%	上場後1週間以内支払い
Bounty	3%	上場後1週間以内支払い
Development	25%	
Marketing	30%	3年の間に50%、30%、20%ずつVesting
Eco System	10%	1年間ロックアップ
Operation	5%	

7. パートナー及びチームメンバー



Frank Hyunsok : co-CEO

- CEO of JNFSoft, IT service consulting company in Australia
- Blockchain Development Team Tech Lead
- Web infrastructure developer at Griffith University, Brisbane
- Polyglot Developer: Java, Kotlin, Scala, Python, and more
- Translated more than 20 IT books to Korean
- Graduated Korea Advanced Institute of Science & Technology (KAIST)



Victor Choi : co-CEO

- Director of ARI.Dev
- Committee of GWDC
- Outside Director/Advisor of Foodyworm
- Co-founder of GeckoPark
- Korea Univ. E-engineering / pre-VET



Donam Kim : CTO

- Senior Blockchain Engineer
- Diamond Technology Group Senior Software Engineer
- Ben Furney Flour Mills, CareWest, Pacific Smiles Group, etc Software Consulting
- Aspire Support Ticketing System, Team Lead
- BIT, University of Newcastle

顧問



HaepPy : Advisor

- Full-time Youtuber of 'wefancy' youtube channel
- Main MC of Arirang TV
- Video production - Korea Tourism organization(Facebook channel)
- Video production and host of Seoul Tourism organization(Youtube channel, VisitSeoulTV)
- Main Editor of CJ ENM and Korea.net



Dongin Kim : Advisor

- Korea Blockchain innovative Leader of Blockchaintimes company
- Founder of Korea coin Group
- Employee of Samsung SDI(2011-2012)
- Advisor of RINGX, ContentBox, Legal Block
- Elite of Huobi Korea
- Partner of Etherlab, Universal Labs
- Community Manager of Datawallet, Berith Co., BitcoinDiamond, Qbao Network, Waltonchain, NEO blockchain, RCN, Pundi X, Wanchain, PayPie

8. ロードマップ



9. リファレンス

1個人メディア産業中小成長企業分析-SK証券(2019.04)

モバイル市場動向分析会社が保有したパネル利用者、事業者の事業報告書-メディア未来研究所(2019.05)

10. 免責条項

MCIコイン免責と事業一般告知

MCIコインは、シンガポールの法律によって規制されます。また、MCIコインが使用されているすべての管轄の国と地域で許認可とライセンス、承認取得が保証されません。

MCI Coinは関係法律と規定の遵守を徹底するとともに、運営に必要な認可・許可及び承認を得るために努力しています。MCI Coinの関連サービスは、各国の規制と政策に影響され、規制に関する認可・許可及び承認を完璧に保証するものではありません。従って、サービス管轄地域において適切な認可・許可を取得できなかった場合、MCI Coinのサービスは制限され、またはApp Storeなどからサービスを拒否されることがあります。

1. 暗号通貨の価値は毎日のように変わります。

暗号通貨の取引や残高は急激に上昇または下落する場合があります。MCI Coinのような暗号通貨の価格が0（ゼロ）になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

2. 暗号通貨取引所の政策によりMCI Coinの取引中止、上場廃止などの決定が下されることがあります。MCI Coinはこのような状況について一切の責任を負いません。

3. MCI Coinは個人間取引の熱が冷め、取引に失敗し、または困難になる可能性があります。または、市場状況や規模によっては相当敵対的な価格で取引価格になる場合もあります。これに伴って取引の流動性のリスクがあります。

4. MCI Coinの売買は取引相手と同じ位の価格が形成されたときに取引可能となります。即ち、適正水準の取引が行われる特定の時間に限り行われることができます。

5. MCI Coin口座の鍵や暗証番号を紛失すると、保有しているMCI Coin口座にアクセスできなくなる可能性があります。MCI Coinはこのような状況について一切の責任を負いません。

6. MCI CoinはクラウドおよびIDCからサービスとプラットフォームを運営しています。各国のセキュリティ規定に基づくセキュリティ監査、セキュリティパッチ、サービス点検を行うように努めていますが、セキュリティ脆弱性、ゼロデイ攻撃、DDoSなどによりサービスへの接続困難や障害などが発生することがあります。これについて、MCI Coinは一切の責任を負いません。

7. 外部環境の変化などの要因により事業を継続できなくなるリスクがあります。この場合、事業を継続して運営できません。顧客資産を含む全ての手続きは、シンガポールの法律に基づき解釈され、破産法、企業法、企業回生法、個人回生法及びその他関連法律に基づいて行われます。

8. 税金と所得税

シンガポールおよび全世界的に暗号通貨に関する法律と税金の規定がまだ確定されていません。情報確認のため、自国の法律会社や税理士、または資格を持った専門家にご相談ください。MCI Coinの売買による資本の取得及び損失は資本取得法及び税法に帰属することがあります。MCI Coinは顧客の納税に関しては一切の責任を負いません。納税に関する追加情報は自国の関係税理士または資格を持った専門家にご相談ください。

MCI Coinは個人の納税に関して一切の責任を負いません。各国の暗号通貨規制によりMCI Coinは一部の国において事業撤退またはMCI Coinの終了をすることがあります。

9. 証券型トークンの排除

MCI Coin白書及び付属資料は、投資説明書や金融サービスの提案書などではありません。いかなる国においても証券投資商品、規制対象商品として取り扱われることはできません。MCI Coin及びサービス製品の買入、買収の提案本白書及び付属資料が利用されることはできません。MCI Coin所有者はMCI Coinと連携した会社または知的財産に関して、持分、株式、債権、資本に対するロイヤルティー、利益、収益などの所得を含め、MCI Coin 運営会社及びその関係会社に対していかなる権利も主張することができないものとしします。

10. MCI Coinの管理と運営

MCI Coinの運営と管理（以下「MCI Coin運営委員会」）は、Multi Signature Walletを通じてMain Walletおよび各事業目的のWalletを管理します。Multi Signature Walletキーの管理の主体は、Dennis Kim、Toby Lee とします。MCI Coin運営委員会のMulti Signature Private keyは上記の法人が保管、管理、運営するものとし、第三者に売却、譲渡してはならず、または担保として提供し、差押え処分を受けることはできません。MCI Coin運営委員会は、本文書のWebサイトへの掲載後直ちに法的な効力を持ちます。

11. SAFT

MCI CoinはSIMPLE AGREEMENT FOR FUTURE TOKENS（「SAFT」）により未発行コインに対する売却を進めることができます。SAFTに関する詳細契約はMCI Coin運営委員会及び法律諮問により締結されます。本契約事項は契約に基づき外部に公表されない場合があります。

12. Block deal and IEO

MCI CoinのBlock dealとIEOはMCI Coin運営委員会の決定により未発行コインを売却することができます。かかる詳細契約はMCI Coin運営委員会及び法律諮問により締結されます。本契約事項は契約に基づき外部に公表されない場合があります。

13. 翻訳

本白書及び付属資料は、英語で発行されます。全ての翻訳は参考用として使用されるものであり、法的な責任を負いません。翻訳の正確性と完全性についてはいかなる保証もしません。本白書及び付属資料の翻訳版と英語版の間に矛盾が生じた場合、英語版が優先されます。

14. 転送の制限

本白書及び付属資料の配布や普及が禁止または制限されている地域や国に本白書及び付属資料を持ち込み、または転送してはなりません。もし、オンライン上で本文書及び白書を閲覧した場合、MCI Coinは包括的な免責権限を有します。ICOが禁止されている中国などで送信が制限されます。

15. 第三者情報

本白書及び付属資料には第三者の出所から取得したデータと参考情報が含まれています。経営陣はこれらのデータが正確で信頼できるものだと信じていますが、専門の法律、会計、エンジニアリング、または金融諮問による独立した監査、確認または分析は行っていません。従って、当該データに対する正確性、信頼性、完全性についていかなる保証もしません。

16. MCI Coinの見解

本白書及び付属資料に示された見解と意見はMCI Coinのものであり、全てに管轄地域の政府、準政府、当局、公共機関、規制機関の公式的な政策や立場を反映するものではありません。本白書はいかなる規制当局の検討も受けていません。

17. リスクについて

本白書及び付属資料は、MCI Coinの購入は相当なリスクを伴い、相当な金額の損失を生じる可能性があることを告知します。MCI Coinを購入する前に一切の他の文書に挙げられたリスクを含め、関連リスクを慎重に評価し、考慮しなければなりません。

従って、購入者は投棄または投資の目的でMCI Coinを購入してはなりません。MCI CoinとMCI Coin事業のリスクと特性を完全に理解したうえ、MCI Coinに内在するリスクを受け入れた場合に限りMCI Coinの購入もしくは取引を行ってください。

18. ERC20

MCI CoinはERC20基盤のブロックチェーン技術を使用しています。MCI Coinは取引速度及び手数料削減の目的で別途のサイドチェーンなどのブロックチェーン生態系とノードを構成することがあります。これに伴い、RDBMS、NoSQLなどを利用してデータを保存、保管することがあります。

19. 専門諮問

MCI Coinの購入を決定するにあたり、必要に応じて弁護士、会計士、税理士その他の専門家に必ずご相談ください。

20. 将来見通しに関する記述についての注意事項

本白書及び付属資料にはMCI Coinが運営する事業に関する仮定と入手できる情報はもちろん、MCI Coinが信頼に基づいて行った将来見通しに関する記述が含まれています。これらの将来見通しに関する記述、予想はその本質から高いリスクと不確実性を含んでいます。

本事項について、MCI Coin及び経営陣は包括的な責任を負わず、将来見通しに記述されたものと大きく異なる結果となる場合があります。全ての将来見通しはそれを記述した時点でのものです。MCI Coin及び経営陣は記述日以降に発生する事象や状況、及び予期せぬ事件の発生を反映するため、将来見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。

21. セキュリティの脆弱性

オープンソース基盤のイーサリアムメインネットは、さまざまなセキュリティ脆弱性に晒されています。最も一般的なブロックチェーンメインネットの一つであるERC20は信頼性がありますが、開発者やMCI Coin開発チームの知らない脆弱性に露出されている可能性があります。

22. 市場造成

MCI Coinは取引所内におけるMCI Coin所有者間の取引に関与しません。ただし、市場の流動性または取引所内の流動性が不足した場合、流動性供給により市場の安定を図ることがあります。ただし、取引所の位置する国の政策により市場造成が法律で禁じられている場合には、MCI Coinは各国の法律を遵守します。

23. アンチマネーロンダリング（AML）とテロ資金供与対策（CFT）

MCI Coinは各国のアンチマネーロンダリング（AML）とテロ資金供与対策（CFT）の政策に従います。MCI Coinはマネーロンダリングまたはテロリスト資金供与との関連が疑われる資金が流入された場合、関係規制機関及び法律機関に7日以内に告知する義務があります。また、MCI Coin シンガポール警察局及び各国の警察に疑わしい取引を報告する義務並びに資金洗浄・テロ資金供与対策法（cap. 325）及び国連安全保障理事会の決議に影響を与えるさまざまな規制に基づき選定された個人もしくは団体に対し、ICOへの参加拒否およびMCI Coinサービスの提供を禁止する行為などを求められることがあります。

24. MCI CoinのICO制限

MCI CoinはICOが禁止されている中国、米国及びその他のICO制限国の国民に対し、ICOへの参加を制限しています。また、国連安全保障理事会の決議に影響を与えるさまざまな規制に基づき選定された個人もしくは団体はICOへの参加ができません。

25. シンガポール金融規制機関の資本市場商品との関連性の排除

MCI シンガポール金融規制機関（以下「シンガポール金融庁」）により規制される資本市場商品ではありません。MCI Coinは株式、無担保債務、事業信託、証券を基にした派生商品契約、集団投資スキームなどシンガポール金融庁により規制される金融商品、資本市場商品ではありません。MCI Coinは伝統的な金融配当を行わず、MCI Coin 所有者が発行者に将来の価値に対するオプションを付与し、または転売することはできません。

MCI Coinはシンガポール金融庁の規制の対象と有権解釈された場合は、シンガポール金融庁の規制ガイドラインに従い、または事業を中止するか事業の根拠国を移転することがあります。MCI Coinは金融庁のICOガイドラインを満たすための努力をしています。

26. Coin Echo System^[1]

MCI CoinのCoin Echo Systemは過度なゲーム決済手数料を打ち破るためのブロックチェーン決済プラットフォームを開発、運営する純粋なドネーションです。これにより、いかなる配当も約束しません。

27. 障害報酬

MCI Coinのブロックチェーン承認遅延及び接続遅延、ノード障害などによって生じるユーザーの損害について、MCI Coinチームは包括的に損害を賠償する義務を負いません。また、MCI Coinはサイバー攻撃やサービス障害、データベース損失、サーバーの障害について、包括的に障害を賠償する義務を負いません。

MCI Coinは上記に明示されたリスクとサービス、派生される金融リスクについては、一切の責任を負いません。MCI Coinは、投資家に対し、各国の規制と市場変化、暗号通貨の価格変動性について注意深くリスクを評価し、税務・法務に関する適切なアドバイスを受けることを、ICO投資家及びMCI Coin投資家に推奨します。

本ホワイトペーパーと付加文書は最終文書が法的な権限があり、ホームページに掲載された後、完全に既存の文書を交換します。ただし、14日以内にMCIをもっているかたは意見を述べることができ、MCIは、その意見を反映することができます。